

平成28年度 一般会計予算

65億3200万円

白馬村史

予算審議

問 手話通訳者および要約筆記者養成は、当初は1名分を予定。

答 要望

村社会福祉協議会と連携を密にして各種事業を進めてほしい。

◎農政課

問 北城ほ場整備計画は、

答 昨年アンケート調査した。対象地域確定、集積などを検討後、28年秋ごろに事業採択、29年度に計画、30年度に事業着手を目指したい。

問 奈良井地区の維持管理や公園利用の方向性は、

答 地元地区などと話し合い維持管理する。ビオトープ的な公園利用を予定、竣工は28年秋。

◎建設課

問 交通安全整備費は500万円で足りるか。

答 全ては賄えず、通学路を優先して整備。

問 地震後の公営住宅の主な予算内容は、

答 建設予定地を村が取得造成と建築は県住宅供給

公社が行い、完成後に村が買い取る。土地取得費は1600万円、建物は5億1800万円ほど。

◎教育課・スポーツ課

問 学校図書館司書の増員理由は、

答 国の方針による。

問 神城断層地震の地面の撓曲部分の活用は、

答 村の文化財指定とし、県や国の指定も目指したい。

問 建設予定の共同調理場の設計は、

答 27年度予算計上したが設計にいたらず、28年度に実施。

◎住民課

問 粗大ごみ処理は重量契約と思われるが、実際には目視で料金を決めているが、

答 松川端での一般排出分は種類も多く資源ごみもあり、また計量施設の設置も難しい。検討していきたい。

問 ごみ集積場のステーション方式とは、

答 名鉄地区のモデル運用で、事業系ごみの多い地

◎観光課

問 天狗山荘トイレ改修方法は、

答 カートリッジを複数準備し、ヘリコプターにより運搬するものを予定。

問 観光局の運営の方向性は、

区にはそぐわない部分がある。

◎意見

問 観光局とともに方向性を検討してもらいたい。

答 観光局は新年度の会費を減じたので圧縮予算。方向性は新たな観光局長と相談して進める。

問 観光地経営計画に基づいた経営会議は、

答 委員数は15名程度、計画策定メンバーや、ワーキンググループ内から選定したい。

起債借入額の推移

